

デジタル空間における情報流通の健全性に関するWG検討課題 (案)

2024年5月10日

デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会
ワーキンググループ事務局

課題整理の方向性①

➤ 検討会資料17-1-1の「デジタル空間における情報流通を巡る課題（案）」には、

1 デジタル空間において具体的に表れた個別の現象としての課題

2 上記1をもたらず構造的・技術的な要因としての課題

3 上記1・2の課題への具体的な方策に関する課題

といった、それぞれ次元の異なる複数の課題が含まれるのではないか。

➤ 本ワーキンググループ（WG）においては、上記2、ひいては1の課題への具体的な方策の在り方としていかなるものが適切かという観点から、WG開催要綱「3.検討事項」（※）ごとに、上記3の課題を中心に、制度面を含む具体的な方策の在り方を検討する必要があるのではないか。

- ※（1）事業者の取組に関する透明性の確保の在り方
- （2）事業者のビジネスモデルに起因する課題への対応の在り方
- （3）関係者間の連携・協力の在り方
- （4）災害発生時等における対処の在り方
- （5）その他

➡ **以上を踏まえ、各課題と本WGにおける検討事項との間の関係を、次スライド以降のように整理することについて、どう考えるか。**

課題整理の方向性②

1 デジタル空間において具体的に表れた個別の現象としての課題

偽・誤情報の拡散（なりすましを含む）への対応の在り方

広告を巡る課題への対応の在り方

2 上記 1 をもたらす構造的・技術的な要因としての課題

アテンション・エコミーが引き起こす課題（フィルターバブル、エコーチェンバーを含む）への対応の在り方

生成AI・ディープフェイク技術の進展に伴うリスクへの対応の在り方

➔ 1・2 いずれも、本WGにおける検討事項（※）全てに関係。

- ※（1）事業者の取組に関する透明性の確保の在り方
- （2）事業者のビジネスモデルに起因する課題への対応の在り方
- （3）関係者間の連携・協力の在り方
- （4）災害発生時等における対処の在り方
- （5）その他

➔ 本WGにおいては、これらの課題への具体的な方策の在り方としていかなるものが適切かという観点から、既存の国内外における制度的対応の状況も整理しつつ、次スライド以降の「具体的な方策に関する課題」への対応の在り方を検討。

- 特に、以下のようなBtoB取引の透明性・公正性向上を目的とした法制度は既に存在するところ、情報の流通の側面に着目し、情報受信者の認知領域等のBtoC関連の利益の保護や、民主主義等の社会的な利益の保護といった観点から、上記 1・2 の課題への具体的な方策として更なる方策が必要か否か、要検討。
 - 広告仲介PFと利用事業者（広告主・パブリッシャー）との間の取引
⇒ 特定デジタルプラットフォームの透明性及び公正性の向上に関する法律
 - ニュースポータルなどの情報伝送PFとニュースコンテンツを編集して提供する事業者との間の取引
⇒ 公正取引委員会が実態調査（2023年9月）

課題整理の方向性③

デジタル広告エコシステム関係

3 上記1・2の課題への具体的な方策に関する課題

(1) 事業者の取組に関する透明性の確保の在り方：WG開催要綱「3.検討事項」(1)

事業者の取組の透明性・アカウントビリティ確保の在り方

レコメンデーションやコンテンツモデレーションの在り方
(アテンションを獲得しやすい情報(コンテンツ)の取扱いに関する透明性・アカウントビリティ確保など)

(2) 事業者のビジネスモデルに起因する課題への対応の在り方：WG開催要綱「3.検討事項」(2)

偽・誤情報等のアテンションを獲得しやすい情報(コンテンツ)付近や悪質なメディア(パブリッシャー)への広告掲載とクリック数等に応じた広告料の支払(それらの情報発信者等への間接的な利益供与によるブランド毀損等の問題)に対する経営層によるリスク管理・ガバナンスや産業界との連携・協力の在り方

広告の質の確保の在り方 偽広告など違法・不当な広告(権利侵害、法令違反、なりすましなど)への対応の在り方

広告配信先のメディア(パブリッシャー)の質の確保の在り方 広告費詐取を目的とした悪質なメディア(パブリッシャー)への対応の在り方

偽・誤情報等のアテンションを獲得しやすい情報(コンテンツ)の投稿増加につながり得る閲覧数等に応じた経済的インセンティブの付与の在り方

偽・誤情報等のアテンションを獲得しやすい情報(コンテンツ)を拡散するbotへの対応の在り方

プライバシー保護・利用者データの保護の在り方 パーソナルデータを用いたプロファイリングやそれに基づくターゲティング広告の在り方

(3) 関係者間の連携・協力の在り方：WG開催要綱「3.検討事項」(3)

ステークホルダー同士の連携・協力の在り方 安心かつ安全な情報伝送に関する知見や情報の共有の在り方

安心・安全で信頼できる広告出稿のための業務の在り方 発信力強化のためのガバナンスの在り方

アテンションを得にくい信頼できる情報(コンテンツ)に関するメディア(パブリッシャー)における制作・発信・伝送能力の強化の在り方

研究機関等との連携・協力の在り方 ファクトチェック機関による連携・協力の在り方 広告主としての国や自治体等による対応の在り方

(4) 災害発生時等における対処の在り方：WG開催要綱「3.検討事項」(4)

緊急事態(災害、サイバー攻撃など)への対応の在り方

(5) その他の課題：WG開催要綱「3.検討事項」(5)

事業者の取組の透明性・アカウントビリティ確保の在り方

デジタル広告エコシステム関係

レコメンデーションやコンテンツモデレーションの在り方

（アテンションを獲得しやすい情報（コンテンツ）の取扱いに関する透明性・アカウントビリティ確保など）

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 情報伝送PFによるコンテンツモデレーション（収益化停止など）の方針・体制・実施状況の透明化や改善（発信者への理由通知その他の救済措置の確保を含む）に向けた方策の在り方
- ✓ 情報伝送PFによる信頼できる情報源からの情報の確実な伝送に向けた規律の在り方
- ✓ 情報伝送PFによる（広告以外のコンテンツの）レコメンデーションに用いられるアルゴリズムやパラメータの透明化や改善（利用者自らが好ましいオプションを選択・変更できる機能の提供を含む）に向けた方策の在り方
- ✓ 情報伝送PFによるコンテンツモデレーション申請手続の明確化・迅速化（特定の主体からの申請の優先取扱いを含む）及び政府・地方自治体による申請の方針や実施状況の透明化に向けた方策の在り方
- ✓ 情報伝送PFによる情報発信主体の真正性・信頼性等（AI利用の有無を含む）の確認・認証及びその結果に応じた伝送情報へのラベリング等の対応の実施に向けた方策の在り方
- ✓ 以上の透明化等を前提に、情報伝送PFのサービスやそのアーキテクチャが情報流通の健全性に与える影響・リスクを評価し、必要に応じて軽減する制度的枠組みの在り方

デジタル広告エコシステム関係

偽・誤情報等のアテンションを獲得しやすい情報（コンテンツ）付近や悪質なメディア（パブリッシャー）への広告掲載とクリック数等に応じた広告料の支払（それらの情報発信者等への間接的な利益供与によるブランド毀損等の問題）に対する経営層によるリスク管理・ガバナンスや産業界との連携・協力の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 広告主企業・経営陣に求められるリスク管理・ガバナンス体制の明確化に向けた方策の在り方
- ✓ 広告主企業・経営陣が上記のようなリスク管理・ガバナンス体制を構築する上で必要な情報（広告出稿業務に係る取引先の認証取得状況など）の共有等の他のマルチステークホルダーとの連携・協力の在り方

デジタル広告エコシステム関係

広告の質の確保の在り方

デジタル広告エコシステム関係

偽広告など違法・不当な広告（権利侵害、法令違反、なりすましなど）への対応の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 広告仲介PF（及び情報伝送PF）による広告掲載基準やその運用体制・状況の透明化や改善（広告主への理由通知その他の救済措置の確保を含む）に向けた方策の在り方
- ✓ 広告仲介PF（及び情報伝送PF）による広告掲載停止手続の明確化・迅速化に向けた方策の在り方
- ✓ 以上の透明化等を前提に、広告仲介PF（及び情報伝送PF）の広告サービスやそのアーキテクチャが情報流通の健全性に与える影響・リスクを評価し、必要に応じて軽減（広告審査基準や審査体制の強化など）する制度的枠組みの在り方
- ✓ 違法な広告に対する取締りに向けた関係省庁間の連携・協力の在り方

デジタル広告エコシステム関係

広告配信先のメディア（パブリッシャー）の質の確保の在り方

デジタル広告エコシステム関係

広告費詐取を目的とした悪質なメディア（パブリッシャー）への対応の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 広告仲介PFによる広告配信先メディア（パブリッシャー）選定の方針・体制・実施状況の透明化や改善（パブリッシャーへの理由通知その他の救済措置の確保を含む）に向けた方策の在り方
- ✓ 広告仲介PFによる広告配信停止手続の明確化・迅速化（特に広告主から申請を受けた場合）に向けた方策の在り方
- ✓ 以上の透明化等を前提に、広告仲介PFの広告サービスやそのアーキテクチャが情報流通の健全性に与える影響・リスクを評価し、必要に応じて軽減（パブリッシャー審査基準や審査体制の強化など）する制度的枠組みの在り方
- ✓ 広告費詐取を目的とした悪質なメディア（パブリッシャー）に対する取締りに向けた関係省庁間の連携・協力の在り方

検討課題：（２）事業者のビジネスモデルに起因する課題への対応の在り方④

デジタル広告エコシステム関係

偽・誤情報等のアテンションを獲得しやすい情報（コンテンツ）の投稿増加につながり得る閲覧数等に応じた経済的インセンティブの付与の在り方

デジタル広告エコシステム関係

偽・誤情報等のアテンションを獲得しやすい情報（コンテンツ）を拡散するbotへの対応の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 情報伝送PFによる発信者への経済的インセンティブ付与の方針・体制・実施状況の透明化や改善（発信者への理由通知その他の救済措置の確保を含む）に向けた方策の在り方
- ✓ 情報伝送PFによる収益化停止手続の明確化・迅速化に向けた方策の在り方
- ✓ 以上の透明化等を前提に、情報伝送PFの発信者への経済的インセンティブ付与サービスやそのアーキテクチャが情報流通の健全性に与える影響・リスクを評価し、必要に応じて軽減する制度的枠組みの在り方
- ✓ 経済的インセンティブの詐取を目的とし、bot等を悪用した違法な情報の発信・拡散主体に対する取締りに向けた関係省庁間の連携・協力の在り方

プライバシー保護・利用者データの保護の在り方

デジタル広告エコシステム関係

パーソナルデータを用いたプロファイリングやそれに基づくターゲティング広告の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 情報伝送PFによる（広告以外のコンテンツの）レコメンデーションに用いられるアルゴリズムやパラメータの透明化や改善（利用者自らが好ましいオプションを選択・変更できる機能や脆弱な利用者に配慮した機能の提供を含む）に向けた方策の在り方
- ✓ 広告仲介PFによる（広告の）ターゲティングに用いられるアルゴリズムやパラメータの透明化や改善（利用者自らが好ましいオプションを選択・変更できる機能や脆弱な利用者に配慮した機能の提供を含む）に向けた方策の在り方
- ✓ 個人情報や個人関連情報等の保護等適正な取扱いに向けた関係省庁間の連携・協力の在り方

ステークホルダー同士の連携・協力の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ マルチステークホルダーによる連携・協力のための基本的な枠組みの在り方（法律やガイドライン等に基づく協議会の設置・運営など）
- ✓ 上記枠組みを通じた事業者の取組に関する透明性・アカウントビリティ確保（モニタリングなど）の在り方

安心かつ安全な情報伝送に関する知見や情報の共有の在り方

デジタル広告エコシステム関係

安心・安全で信頼できる広告出稿のための業務の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 偽・誤情報等やその発信源に関する情報、ベストプラクティス（広告出稿業務に係る認証取得など）の共有に向けた連携・協力の在り方
- ✓ 違法・不当な広告や悪質なメディア（パブリッシャー）に関する情報の集約・分析・共有（民間による広告配信停止等の取組や政府・地方自治体による違法事案への対応などにおける活用）の在り方

発信力強化のためのガバナンスの在り方

デジタル広告エコシステム関係

アテンションを得にくい信頼できる情報（コンテンツ）に関するメディア（パブリッシャー）における制作・発信・伝送能力の強化の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ （特に災害発生時等における）信頼できる情報の確実な伝送に向けた発信主体と伝送主体の連携・協力の在り方

研究機関等との連携・協力の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 研究機関等へのデータアクセスの提供と、それを通じた事業者の取組に関する透明性・アカウントビリティ確保の在り方

デジタル広告エコシステム関係

ファクトチェック機関による連携・協力の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 違法・不当な広告や悪質なメディア（パブリッシャー）に関する情報の集約・分析・共有等の場面におけるファクトチェック機関による他のステークホルダー（情報伝送PF・広告仲介PFなど）との連携・協力の在り方

デジタル広告エコシステム関係

広告主としての国や自治体等による対応の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 関係省庁・部局間における安心・安全かつ信頼できる広告出稿に係る知見・ベストプラクティス（広告出稿業務に係る認証取得など）の共有に向けた連携・協力の在り方

緊急事態（災害、サイバー攻撃など）への対応の在り方

（これまでに指摘された論点の例）

- ✓ 災害発生時等の情報流通に関するリスクが特に高い場面において、情報伝送PFや広告仲介PFのサービスやアーキテクチャが情報流通の健全性に与える影響・リスクを平時とは別に評価し、必要に応じて軽減する制度的枠組みの在り方
- ✓ 明白な違法情報を繰り返し発信するアカウントへの対応の在り方

検討課題：（５）その他の課題

- ➡ 前記（１）～（４）以外に、具体的な方策の在り方として検討すべき課題があるか。